

県内公共施設初の大規模ソーラーカーポートを導入！

豊橋総合動植物公園内駐車場で発電した電力の自家消費を始めます

本市は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティとよはし」を目指しています。公共施設への自家消費型の太陽光発電設備等の導入事業（PPA事業※1）について、令和4年度に公募型プロポーザルにより大和リース株式会社を実施事業者を選定し、昨年度、国庫補助事業（※2）を活用した、豊橋総合動植物公園へのソーラーカーポートの設置工事を行い、4月22日よりソーラーカーポートで発電した電力を園内施設へ供給します。

■ 事業目的

- 使用電力の再エネ化（豊橋市役所 RE100）とエネルギーの地産地消
- 平常時の温室効果ガスの排出抑制
- 駐車場へのカーポート機能による利便性向上

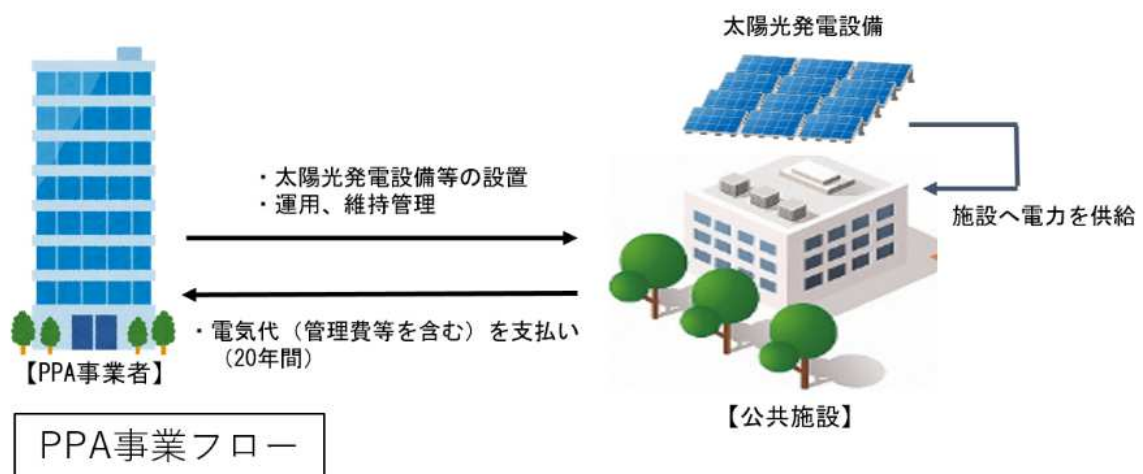
■ 事業概要

<大和リース株式会社>

- ・ソーラーカーポート（キュービクル等付帯設備含む）を中央第1駐車場、東第1駐車場、東第2駐車場に設置
- ・エネルギーマネジメントシステムによる運用、保守管理などを一貫して実施
- ・運用開始から20年間の維持管理
- ・事業期間終了後は設備を本市に無償譲渡

<豊橋市>

- ・施設使用の許可をするとともに、発電された電力を使用し、電気代として支払う



※1：PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）とは

設備設置事業者（PPA事業者）が施設の未利用地等（屋根や隣接地）に太陽光発電設備を設置し、施設側は設備で発電した電気を購入する契約のこと。施設側は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することができる。

※2：国庫補助事業

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業 新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業（ソーラーカーポート事業）を活用

■ 設備の設置状況



■ 導入効果（導入のポイント）

- ① 太陽光発電設備設置容量：992kW パワーコンディショナー容量：885 kW
- ② 二酸化炭素排出量の削減効果：406t-CO2/年
- ③ 電力の地産地消（自家消費）：需要電力の約40%
- ④ カーポート設置による夏場の遮熱効果

公共施設のゼロカーボンを進めていくに〜！



かん田きょう子さん

問合せ 環境部 ゼロカーボンシティ推進課 主幹 大塚（電話 51-2409）